

炊飯して食べるまでの体験学習を

教育長 食と農の親近感を得る絶好の機会であり 検討する



録画を配信

「食」とは

問 白鷹町としての「食」に対する基本的考え方を問う。

町長 我々が生きていくうえで欠くことのできない重要なものであり、生涯にわたって生き生きと暮らすための基本である。

とりわけ、本町の未来を築く子どもたちが、豊かな人間性を育み、生きる力を身に付けていくうえでも重要な意味を持つと認識している。

体験学習

問 地元生産者が育てた「コメ」を子ども



金田 悟 議員

私もひとこと

お昼に学校中が炊きあがるお米の香りだけでいい体験してほしい。

（町内60代）

たちが炊飯して食べる取り組みをしてはどうか。

教育長 これまでにない新たな取り組みになる。

生産者が手塩にかけて育てた「コメ」を、その苦労や思いをお聞きしながら炊飯して食べることは、食と農の親近感、食文化につい

て理解を深める絶好の機会であり検討させていただきたい。

問 学校における体験学習の方向性はどうか。

町長 体験学習を支えてくださっている地域の皆様に感謝しつつ継続していただきたいと考えている。

学校給食

問 学校給食の無償化を実施している自治体が、全国の約3割あるとの調査結果がある。白鷹町としてどう考えているか。

町長 我が町の給食費は決して高いものではないと認識している。無償化ではなく、今後

も今の単価を維持し取り組んでいきたい。

問 食物アレルギー対応をどうしているか。

教育次長 児童生徒の命に関わる重要なことであり、慎重な対応が

求められている。

また、医療機関の検査結果などに基づき、個別の対応を行っている。誤って混入することのないよう細心の注意を払っている。

問 イノシシの食害による被害状況と対策をどうしていくか。

農林課長 学校給食用の食材に予定していたジャガイモが出荷できなくなった。

対策として、「学校給食用農作物生産者鳥獣被害対策支援事業」により、対象となる農



体験学習

地に電気柵を貸与し、被害を防止する対策を講じていきたい。

問 野菜農家の急激な減少が想定されるが、認識はどうか。

農林課長 献立に合わせて農産物の生産をお願いすることへの対応が、将来的に難しくなってくる大きな課題と捉えている。

町長 大変重要な問題であり、農家の後継者をいかにして育てていくかを、地域の代表者の方々と連携し対応していきたい。